

日本の海岸線を歩く会 行動報告書

報告者：鹿島 静哉

1. 概要

地域分類	東海コース2歩行
歩行区間	スタート地点：JR東海道線 大磯駅
	ゴール地点：伊豆急行線 下田駅
実施期間	2013年6月16日(日)～18日(火)、6月23日(日)～26日(水)
全歩行距離	150.7 km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー	鹿島 静哉	72歳	7日	8期
2	記録	江守 善昭	75歳	7日	5期
3		住山 茂	67歳	3日	12期
4		栗田 宏和	65歳	2日	14期
5					
6					

3. 歩行の概要

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	6月16日	JR 大磯駅～早川駅	21.5km	鹿島、江守	
2	17日	JR 早川駅～真鶴	20.4km	鹿島、江守	
3	18日	真鶴～JR 網代駅	22.0km	鹿島、江守	
4	23日	JR網代駅～伊豆急川奈駅	19.3km	鹿島、江守、栗田	
5	24日	伊豆急川奈駅～片瀬白田駅	29.0km	鹿島、江守、栗田、住山	
6	25日	片瀬白田駅～白浜海岸	21.9km	鹿島、江守、住山	
7	26日	白浜海岸～伊豆急下田駅	16.6km	鹿島、江守、住山	

4. 参加費

参加者延べ日数 19日 参加費合計 1900円

5. 歩行の詳細

6月16日(日) 参加者 鹿島、江守 天候 小雨 → 晴

東海2歩行は、参加者2名とやや寂しく、生憎の小雨の中をJR大磯駅をスタートした。国道1号を横切り西湘バイパス沿いのサイクリングロードを相模湾を見ながらの歩行。この道も大磯ロングビーチで終わるのでやむなく国道1号線を、傘をさして歩く。何回か国道を離れて畑の中等を歩くが途中行き止まりになり又1号線に戻る。小田原手前のラーメン屋で昼食。昼食後は晴れてきた。13:20に酒匂橋を渡る。早川近くなると海岸堤防の歩道を海を見ながらの歩行。14:30に小田原漁港に到着。魚市場近くの海産物のバーベキュー場は日曜日でもあり家族連れ等で賑わっている。我々はその脇のベンチで名物の蒲鉾を肴に初日の歩行を祝して生ビールで乾杯。15:30JR早川駅着。江守さんは小田原駅で宿泊、鹿島は茅ヶ崎に帰る。

6月17日(月) 参加者 鹿島、江守 天候 晴

8:50に早川駅を出発。国道135線をひたすら真鶴を目指して歩く。この辺りは海岸線は自動車専用道路が多く、135線の旧道は海を離れた山道になるので、アップダウンが激しく、結構きつい歩行になった。快晴で気温も上がってきたので日陰の場所で何回か休憩。オレンジ、甘夏、ビワ等を売っている露店の前で休憩。カラーオレンジを100円で買い食したが、ジュシーでとても美味しい。ビワをサービスして貰うがこれも甘くて美味しかった。真鶴近くで菜園帰りのおばあさんと一緒に歩く。83歳で30分かけて上の畑

に通っているとの事。民宿「大和屋」に泊まると伝え、家の近くとの事で近道を案内して貰った。おまけに今とってきたカラーオレンジ、甘夏等3個つつ戴く。12:10 真鶴 前ノ浜前の民宿「大和屋」に到着。真鶴半島散策に向かう。食堂がないのでスーパーでシラス丼等買い食す。真鶴港、琴ヶ浜等海岸線を歩いた後、御林遊歩道等自然林の中を歩き、14:30真鶴半島先端の景勝地 三ツ石海岸 到着。独身のお兄さんの造る海の幸の夕食が美味しく、ビールと焼酎が一段とすすんだ。

6月18日(火) 参加者 鹿島、江守 天候 晴

8:30 民宿「大和屋」のお兄さんに送られて出発。JR真鶴駅前記念写真し、国道135線を熱海に向かい歩く。途中の湯河原の吉原海岸は、吉原に元勤務した真鶴の巡査によると木村拓も良く来るなどサーファーのマナーも良くサーフィンのメッカだそう。登り下りの激しい国道135線は、トンネルも多く、懐中電灯を照らしながらの歩行を強いられ、伊豆半島は海岸線を歩くと思っていたが山の中の歩行が多く意外だった。

12:00前に熱海に到着。「お宮の松」で記念撮影の後海鮮料理の看板だらけの中やっと探したそば屋で昼食し、更に網代を目指し山道を進む。多賀長浜海岸で海を見ながら一休み。海沿いに歩くが、網代の標識が出てこず、いつまでも熱海の地名が続いた。14:50漸く網代駅に到着し、駅手前のコンビニでビールを買い込み、電車を待つホームで乾杯して東海2歩行前半の完歩を祝した。

6月23日(日) 参加者 鹿島、江守、栗田 天候 晴

8:50に網代駅出発。今日より栗田さんも参加。栗田さんは魚釣りでこの地域は自分の庭の様になっているとの事で実に頼もしい案内人が出来ラッキー。出発に当り写真を撮ろうとするも誰もいないので駅長さんをお願いした。宇佐美、伊東は海岸に沿っての歩行となる。11:40道の駅伊東マリンパークで「あさり冷やしラーメン」を食べたがあっさりしてとても美味しかった。伊東港では、大きな生簀に飼われているイルカを見学。写真を撮ろうとするがタイミングが合わず中々難しい。何の目的で飼われているか不明。13:00汐吹き公園で、汐吹きの見学場所で待つも、生憎の引き潮で見られなかった。川奈の漁港より川奈駅をめざし坂道をのぼるが中々着かづ途中で何回も道を聞きながらのぼり、14:40に漸く駅に到着。早速駅前のスーパーでビールを買い込み後半1日目の歩行の終了を祝し乾杯。江守さんは川奈で宿泊、栗田さんは釣り具一式持参してきており釣りをした後伊東で宿泊。鹿島は茅ヶ崎に帰る。

6月24日(月) 参加者 鹿島、江守、住山、栗田 天候 晴

住山さんも参加し4人の歩行。川奈駅前写真撮影後9:15分出発。国道109号線を下り、聚光院伊東別院前で休憩。川奈ホテルゴルフ場脇を通り、城ヶ崎海岸を目指す。富戸港を過ぎて、12:00城ヶ崎海岸「ぼら納屋」で昼食。海鮮カレーには沢山の魚貝が入り美味しかった。目的地の片瀬白田駅までは時間が掛かりそうなので、2班に分かれて歩行する事とした。

江守、鹿島組は門脇駐車場よりタクシーで城ヶ崎海岸駅へ。伊豆急下りで片瀬白田駅に着き、宿屋に荷物を預け北上する。熱川までは堤防沿いの立派な遊歩道を雄大な海を右手に見ながらの歩行で良かった。熱川からは山の中の国道135線を歩き2ヶ所のトンネルを抜けた後、16時頃伊豆大川駅に到着。住山、栗田組は城ヶ崎海岸から八幡野港までほぼ海岸沿いに遊歩道を歩いたが、距離もありアップダウンも多く、途中に吊り橋や滝があり、山道を歩いている様な感じる所もあった。全体的には素晴らしい磯の風景を眺めながらの歩行で、これぞ「日本の海岸線を歩く」旅だと思いつつ歩いた。八幡野港からは国道135号線を歩き、16:50伊豆大川駅に到着し合流。乾杯。栗田さんは上りで帰り、3人は下り線で片瀬白田駅に到着後、温泉民宿「浜っ子」に17:20頃到着。温泉で疲れをとった後、宿自慢の磯料理は新鮮で品数も多く大満足。地元で採れる巻貝のシッタカを先端までとるのは左手をまわす事との江守さんの講釈に、これぞ「しったかぶり」との声有。長い1日であったが美味しい料理とお酒を満喫できた。朝食も美味しく、6500円はお得な宿であった。

6月25日(火) 参加者 鹿島、江守、住山 天候 晴

7:45 女将さんを入れて記念撮影し、国道135線にでるコースを聞いた後出発。東伊豆ではところてんの製造販売している店で食べた冷たいところてんが美味しかった。今井浜では海岸線を歩く。河津からは伊豆急行と分かれ、東伊豆道路(国道135号線)を下田に向かう。11:45伊豆アンディランドでロコモコ丼(ハンバーグ丼)の昼食。暑い中の歩行だったので、氷水を何杯も頂く。展望台のある尾ヶ崎ウイン

グからは、伊豆7島の大島、新島、神津島等がぼんやり見えた。はるか南には爪木崎半島が長く低く見える。この辺はアロエの里で、歩道にはアロエが密集している。伊豆白浜に向かい下がっていくと、道端「潮騒」の看板があった。ここが今日の宿「海辺の温泉民宿潮騒」で、14:00着。今晚の飲み物を仕入れに白浜の町に出、白浜神社にも参拝する。宿のすぐ下が白浜の海水浴場で、のんびりと海を見ながら買ったビールを飲む。宿自慢の岩風呂で疲れた身体を癒し、6時から海の幸の夕食。折角伊豆まで来たのだからと特別注文で伊勢海老の刺身を頂く。大皿に盛られた海老は刺身になっているのに触覚はまだ動いていた。メバルの煮付けが美味しかった。冷たいビールと、焼酎で酔いが回った。この宿は伊豆の海を見晴らす海辺の宿で夏は繁盛すると思われ部屋数も多い。この日は我々だけだったので女将さん一人で世話をしてくれた。若いと思っていたが小学6年の孫がいると聞いてびっくり。

6月26日(水) 参加者 鹿島、江守、住山 天候 雨

7:35 宿前で記念写真を撮り出発。天気予報は外れて雨。小雨だったので傘をさしての歩行となる。国道135号を進むが、外浦漁港入口より分かれる。漁港を過ぎ爪木崎の方に行こうとするが、道が分かりにくく、何回も迷いながら漸く街道にでる。御用邸の脇を通り、9:40爪木崎公園入口に到着。灯台を見わたせる所で記念撮影。伊豆半島最東端に来た事になる。ここより海岸線を須崎港バス停を目指し進む。段々雨が激しくなり、全身びしょ濡れになりながら、狭い海岸線の歩道を歩く。歩道は良く整備されているが、登り下りが結構多い。11:05漸く須崎港に着くが、休憩できる場所が無い。やっと屋根があり腰掛けられる店先を見つけ休憩。雨の中を伊豆急下田駅を目指し、必死に歩く。

12:20 下田駅到着。東海2歩行完歩の記念撮影した後、乾杯する店を探すが駅構内には無く、止むなく雨の中をレストラン探しに出る。観光客用のレストランに入り、我々のレベルでは一寸高い海鮮料理を頂く事になった。生ビールで完歩を祝い乾杯。帰りの車中でも残りの焼酎を平らげ、ほろ酔いで帰宅となった。

東海2歩行は、最初と最後の日に雨に降られたが、後は天候も良く、事故もなくほぼ予定通りの歩行が出来た。JR、伊豆急行が走っており、出入りが比較的しやすい場所で、途中参加も可能なコースだった。伊豆半島の東海岸を海を見ながら歩くものと思っていたが、実際には海岸線は自動車専用道路が多く、国道135号線は山の中を歩く事が多かった。更にアップダウンが結構激しく、トンネルも数多くあった。歩道がある所は良いが、歩道無しの所は注意して歩いた。

伊豆半島は温泉に恵まれ、新鮮な魚料理が食べられ、民宿は値段も手ごろで良かった。

参加者皆様のご協力に感謝し、報告書とします。

以上